



Hewlett Packard Enterprise

Cloud Service Automation

リリースノート

ソフトウェアバージョン: 4.60

ドキュメントリリース日: 2016 年 1 月 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2016 年 1 月

目次

はじめに.....	2
本バージョン.....	2
インストール要件.....	2
ドキュメント.....	2
サポート.....	2
本リリースでの修正.....	3
HPE Cloud Service Automation.....	3
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール.....	3
クラウドサービス管理コンソール.....	3
マーケットプレイスポータル.....	4
オンラインヘルプ.....	5
HPE CSA との統合.....	6
HPE Operations Orchestration.....	6
既知の問題、制限事項、回避方法.....	6
HPE Cloud Service Automation.....	6
ソリューション全般.....	6
インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール.....	7
クラウドサービス管理コンソール.....	11
マーケットプレイスポータル.....	12
『インストールガイド』と『Upgrade Guide』.....	15
HPE CSA との統合.....	15
HPE Operations Orchestration.....	15
廃止に関する注記.....	16
代理トポロジサービスコンポーネント.....	16
サポート終了に関する注記.....	16
サービスデザインとコンテンツパック.....	16
ドキュメントのフィードバックの送信.....	18

ご注意.....	18
保証.....	18
権利の制限.....	18
著作権について.....	18
商標について.....	18
ドキュメントの更新情報.....	18
サポート.....	18

はじめに

このリリースノートでは、Hewlett Packard Enterprise Cloud Service Automation (HPE CSA) のこのリリースで行われた変更内容について、マニュアルやオンラインヘルプには記載されていない重要な項目を説明します。

本バージョン

HPE Cloud Service Automation (HPE CSA) は、クラウドコンピューティング環境において、自動化されたサービスの提供および管理を目的とした Hewlett Packard Enterprise 製品を統合するソフトウェアです。統合製品の詳細については、『HPE Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。

HPE Cloud Service Automation 環境が優れたパフォーマンスと安定性を発揮できるように、次のタスクを完了してからインストールを開始してください。

- 各コンポーネント製品でサポートされるハードウェアとソフトウェアが、インストールの最小要件を満たしていることを確認します。
- 関連パッチとパッチリリースのホットフィックスが、コンポーネント製品に適用済みであることを確認します。
- リリースノートで、各コンポーネント製品に追加の変更内容や制限事項がないか確認します。

インストール要件

インストール要件については、『HPE Software Cloud Service Automation Solution and Software Support Matrix』を参照してください。HPE Cloud Service Automation のインストールと構成の手順については、『HPE Cloud Service Automation Installation Guide』を参照してください。

ドキュメント

HPE CSA のドキュメントとホワイトペーパーにアクセスするには、次の URL でサインインまたは登録を行います。

<https://softwaresupport.hp.com/>

ページ上部の検索機能を使用すると、ドキュメント、ホワイトペーパーなどの情報ソースを検索できます。

カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/

サポート

Hewlett Packard Enterprise ソフトウェアサポートオンライン Web サイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com>

カスタマーサポートサイトの使用方法の詳細については、次の URL にアクセスしてください。

https://softwaresupport.hp.com/documents/10180/14684/HP_Software_Customer_Support_Handbook/

本リリースでの修正

HPЕ Cloud Service Automation

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

HPЕ Single Sign-On (HPЕ SSO) を CAC 環境で有効にすると、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしても、CSA で HPЕ SSO が設定されている他のアプリケーションからログアウトされない

ID	QCCR1D203795
問題	HPЕ Single Sign-On を共通アクセスカード (CAC) 環境で有効にしている場合、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしても、CSA で HP SSO が設定されている他のアプリケーション (Operations Orchestration など) からは自動的にログアウトされません。

SchemaInstallationTool の実行時にエラーが発生する

ID	QCCR1D207836
問題	CSA で使用するデータベースとして Oracle を選択した状態で SchemaInstallationTool (<code>%CSA_HOME%\Tools\SchemaInstallationTool</code> ディレクトリ) を実行すると、次の例外が発生します (メッセージの正確なパスは、CSA のインストール時に指定したパスによって異なります)。 <code>"C:\Program Files\Hewlett-Packard\CSA\jboss-as\modules\com\oracle\ojdbc7\main does not exist."</code>

OpenStack デザインをベースにするサービスオファリングを選択すると、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示される

ID	QCCR1D208288
問題	プロバイダーツール (<code>%CSA_HOME%\Tools\ProviderTool</code> 内) を使用すると、既存の OpenStack プロバイダーから必須プロパティでも削除することが可能です。削除してしまうと、OpenStack デザインをベースにするサービスオファリングを選択したときに、マーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。ブルースクリーンが表示されるのは、サービスオファリングが 1 つまたは複数の環境を含むカタログに関連付けられていて、環境の 1 つがこのプロバイダーを含む場合のみです。

クラウドサービス管理コンソール

OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示される

ID	QCCR1D205242
問題	OpenStack ベースのトポロジデザインに関連する要求について、マーケットプレイスポータルで [要求の詳細] を開くと、ブルースクリーンが表示されることがあります。この状況が発生するのは、OpenStack ベースのトポロジデザインが、 [動的入力] に設定された [リスト] サブスクリバードプションプロパティを使用しており、OpenStack プロバイダーが以下の回避方法のように構成されていない場合のみです。

[名前を付けて保存] ボタンでデザインをコピーすると、ソースデザインに関連付けられているタグがコピーされない

ID	QCCR1D206870
問題	トポロジデザインまたはシーケンスデザインを [名前を付けて保存] ボタンを使ってコピーすると、ソースデザインに関連付けられているタグが、新しく作成したデザインにコピーされません。

カタログ、サービスオファリング、サービスデザインを含むコンテンツアーカイブのインポートに時間がかかる

ID	QCCR1D207330
問題	カタログ、サービスオファリング、サービスデザインを含むコンテンツアーカイブをインポートする場合、ベースとなるサービスデザインのリソースオファリングが複数のサービスデザイン (10 個以上) に共有されていると、インポートに時間がかかることがあります。同じように、システム上にコンテンツアーカイブからの同じサービスデザインをベースにする複数のサービスオファリングが存在するときも、インポート操作に時間がかかることがあります。

サービスデザインの削除が失敗し、内部サーバーエラーメッセージが表示される

ID	QCCR1D207655
問題	クラウドサービス管理コンソールでシーケンスサービスデザインを削除する場合、そのデザインに関連付けられたアクティブまたは失敗のサブスクリプションが存在すると、削除は失敗して内部サーバーエラーメッセージが表示されます。

編集可能な [整数] サブスクリバードプションプロパティで [値の範囲] を設定する場合、最大値を入力しようとしても、最小値より大きな値に自動的に修正されてしまう

ID	QCCR1D207730
問題	編集可能な [整数] サブスクリバードプションプロパティで [値の範囲] を設定する場合、最大値を入力しようとしても、最小値より大きな値に自動的に修正されてしまうため、正しい値を設定できない場合があります。たとえば、最小値を 10 に設定した後で最大値を 60 に設定しようとする、60 を入力したつもりでも最大値は 100 になってしまいます。これは、6 を入力した時点でこの 6 が自動的に 10 に変換されてしまうためです。

サービスオファリングをカタログに発行すると、警告メッセージが誤って表示される

ID	QCCR1D208075
問題	サービスオファリングをカタログに発行する場合、次の条件が両方とも満たされると、警告メッセージが誤って表示されます。 <ul style="list-style-type: none">サービスオファリングが、プロバイダタイプが関連付けられていないコンポーネントを含むトポジデザインから作成されている。カタログが、1 つまたは複数の空でない環境に関連付けられている。 この場合、次の警告メッセージが表示されます。「プロバイダーnull (トポジデザイン <デザイン名> に必要) に、カタログ <カタログ名> に関連付けられたリソース環境がありません。」

トポジデザインの [サブスクリバードプション] タブを開き、[動的エントリーリスト] プロパティで [データの更新] アイコンをクリックすると、結果が表示されないか、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示される

ID	QCCR1D208116
問題	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポジ] / [デザイナー] 領域で、デザインの [サブスクリバードプション] タブを開き、[動的エントリーリスト] プロパティで [データの更新] アイコンをクリックすると、結果が表示されないか、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示されます。これは、デザインのオファリングのサブスクライブ時にサブスクリバードプションが適切な値を取得を選択できるように、OpenStack デザインで JSP を使用して OpenStack プロバイダーから値 (フレーバー、画像、サブネットなど) を取得している場合に、特に問題となります。OpenStack プロバイダーが定義されていない場合や、定義されていても応答が遅い場合、[データの更新] をクリックしても結果が表示されません。プロバイダーが定義されていても設定に誤りがあると、JSP が見つからないというエラーメッセージが表示されます。

マーケットプレイスポータルで 'propertyName' という名前のパラメーターのプロパティ値が表示されない

ID	QCCR1D208830
問題	[動的クエリリスト] サブスクリバードプションプロパティが含まれるシーケンスデザインに、'propertyName' という名前のパラメーターを渡す HTTP 要求本文が含まれている場合、マーケットプレイスポータルのサブスクライバーにこのプロパティの解決済みの値が表示されません。

マーケットプレイスポータル

サービスオファリングにスクリーンショット画像を添付する際にエラーが発生する

ID	QCCR1D176173
問題	CSA が OpenJRE を使用するように構成されている場合に、クラウドサービス管理コンソールでサービスオファリングにスクリーンショット画像を添付しようとする、特定の .jpeg 画像で失敗することがあります。

デフォルトのカタログを削除しようとする、「503 - サーバー上で問題が発生しました」というエラーメッセージが表示される

ID	QCCR1D204864
問題	マーケットプレイスポータルにコンシューマー組織の管理者としてログインし、デフォルトのカタログを削除しようとする、「503 - サーバー上で問題が発生しました」というメッセージが表示されます。

[オフリング管理] または [カタログ管理] 領域に表示される数が、オフリングやカタログの数を正しく示していない場合がある

ID	QCCR1D205444
問題	コンシューマー組織の管理者としてマーケットプレイスポータルにログインすると、[オフリング管理] 領域のオフリングの数または [カタログ管理] 領域のカタログの数が正しく表示されないことがあります。表示されているオフリングまたはカタログの数よりも大きな値が表示されます。さらに、オフリングまたはカタログのリストをスクロールすると、アイテムが重複して表示されることがあります。

OpenStack ベースのトポロジデザインをベースにしたサービスオフリングについて、マーケットプレイスポータルで [リスト] プロパティ値が再生成されない

ID	QCCR1D205979
問題	[動的エントリ] サブスクリプションオプションの [リスト] プロパティを使用して、サブスクリバラーが選択できるプロバイダー固有の値を取得している OpenStack ベースのトポロジデザインがあり、これをベースにしたサービスオフリングのサブスクリプションをマーケットプレイスポータルでオーダーする場合、サブスクリバラーが環境やプロバイダーを選択したときに値リストが正しく再生成されないことがあります。たとえば、ある OpenStack プロバイダーを選択した後、これを [任意の環境] に変更してから、同じプロバイダーをまた選択すると、[リスト] プロパティ値が再生成されないことがあります。

クラウドサービス管理コンソールの [ポータルのカスタマイズ] セクションで、**[著作権]** に数値のみを入力すると、コンシューマー組織のマーケットプレイスポータルのログイン画面に、アプリケーション名、ようこそメッセージ、著作権情報が表示されなくなる

ID	QCCR1D206962
問題	クラウドサービス管理コンソールの [組織] タイルで、コンシューマー組織の [ポータルのカスタマイズ] 領域の [著作権] に数値のみ (2015 など) を入力すると、コンシューマー組織のマーケットプレイスポータルのログイン画面に、アプリケーション名、ようこそメッセージ、著作権情報が表示されなくなります。

マーケットプレイスポータルで要求の [要求の詳細] ページにある **[価格内訳]** を展開した場合、**[複数選択]** サブスクリバラーオプションの **[リスト]** プロパティでサブスクリバラーが複数の値を選択しているにもかかわらず、選択した値の一部が表示されないことがある

ID	QCCR1D207264
問題	マーケットプレイスポータルで要求の [要求の詳細] ページにある [価格内訳] を展開した場合、 [複数選択] サブスクリバラーオプションの [リスト] プロパティでサブスクリバラーが複数の値を選択しているにもかかわらず、選択した値の一部が表示されないことがあります。

サブスクリバラーオプションパネルのプロパティの順序が、オフリングおよび MPP のデザインと異なる

ID	QCCR1D217935
問題	HPE CSA 4.6 では、オプションモデル UI でオプションのプロパティの順序を設定できます。オプションのプロパティは、デフォルトではアルファベット順に表示されなくなり、依存するプロパティも親プロパティの隣には移動されません。マーケットプレイスポータルでのオプションのプロパティの表示順序は、オプションモデル構成で指定されたものになります。プロパティの順序が構成されていない既存のオフリングでは、オプションのプロパティはアルファベット順に表示されます。

オンラインヘルプ

クラウドサービス管理コンソール [クラウドオプティマイザー] タイルについての説明がクラウドサービス管理コンソールのヘルプにない

ID	QCCR1D207149
問題	クラウドサービス管理コンソール [クラウドオプティマイザー] タイルについての説明がクラウドサービス管理コンソールのヘルプにありません。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプに、有効なトポロジコンポーネントのインポートソースのうち 2 つに関する記述がない

ID	QCCR1D207152
問題	クラウドサービス管理コンソールのヘルプに、有効なトポロジコンポーネントのインポートソースのうち 2 つに関する記述がありません。HPE Insight Control サーバードプロビジョニングと HPE OneView は、トポロジコンポーネントでサポートされているインポートソースです。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプで、「マイクロサービスデザイン」を使用すべき箇所「インフラストラクチャーデザイン」が使用されている

ID	QCCR1D207239
問題	クラウドサービス管理コンソールのヘルプでは、部分デザイン内の機能のニーズを満たす具体的なデザインを示す用語として、「インフラストラクチャーデザイン」が使用されています。「インフラストラクチャーデザイン」という用語はクラウドサービス管理コンソールでは現在使用されていません。部分デザイン内にある特定の機能のニーズを満たす具現デザインには現在、「マイクロサービスデザイン」という用語が使用されています。 テスト実行 操作中にマイクロサービスデザインを選択する操作は、[テスト実行] ウィザードの [デザイン構成] ステップで行うようになりました。

クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、発行済みサービスデザインの発行解除ができないという誤った記述がある

ID	QCCR1D207385
問題	クラウドサービス管理コンソールのオンラインヘルプには、発行済みサービスデザインの発行解除ができないという誤った記述があります。発行済みのデザインは、デザインにサービスオファリングが存在しないという条件と、トポロジデザインにアクティブなサブスクリプションが存在しないという条件を満たせば、発行解除が可能です。

HPE CSA との統合

HPE Operations Orchestration

Linux システム上でプロビジョニングした Puppet トポロジコンポーネントで、プロビジョニングが失敗する

ID	QCCR1D208580
問題	/opt ディレクトリが存在しない Linux システム上で Puppet トポロジコンポーネントをプロビジョニングすると、プロビジョニングが失敗します。

既知の問題、制限事項、回避方法

HPE Cloud Service Automation

ソリューション全般

Reaper サービスが IDM DB の TOKENSTOREOBJECT データベーステーブルをクリーンアップしないため、データベースサーバーのディスク I/O 負荷が高まる

ID	QCCR1D210583
問題	IDM データベースに記録された行の数が 600k 以上になると、ディスク使用率が高くなります。このため、MPP および CSA へのログイン時の認証に時間がかかることがあります。
原因	ディスク使用率が高くなるのは、IDM DB の TOKENSTORE テーブルのデータベースインデックスが、頻繁な読み書きによって過度に断片化されるためです。
回避方法	1. CSA と MPP を停止します。 2. この問題が起きている TOKENSTOREPBJECT データベーステーブルを切り詰めます。 または TOKENSTORE オブジェクトテーブルのインデックスを定期的に再構築します。

インストール、初期構成、アップグレード、アンインストール

IDM の applicationContext.properties ファイルに使用されないプロパティが定義されている

ID	QCCR1D204074
問題	<p>IDM .war ファイルで、applicationContext.properties ファイルに次の構成プロパティがあります。</p> <pre># Database connection settings idm.persistence.connection.driver.class = org.postgresql.Driver # Update this url to have your correct information idm.persistence.connection.url = jdbc:postgresql://<database host>:<database port>/<database name> # Database connection user settings idm.persistence.connection.username = <username> idm.persistence.connection.password = <password> # JDBC connection pool (use the built-in) idm.persistence.connection.pool_size = 10</pre> <p>これらのプロパティは CSA では意味がなく、クリアしてかまいません。</p>
原因	これらのプロパティは、IDM で組織管理を行う場合に使用されます。CSA は独自の方法で組織を管理するため、これらのプロパティの値を使用しません。
回避方法	回避方法はありません。これらのプロパティを変更しても、CSA のセットアップには何の影響もありません。

マーケットプレイスポータルユーザーが、パートナーポータルリンクを使って他の HPE 製品にアクセスしようとする、インストール時に HP SSO を有効にした場合でも、製品のログイン画面にリダイレクトされる

ID	QCCR1D208828
問題	CSA インストーラーで [HP SSO の有効化] を選択しても、IDM 内の構成ファイルは自動的に HPE Single Sign-On (SSO) 向けの構成になりません。その結果、マーケットプレイスポータルで HPE SSO の統合は正常に動作しなくなります。マーケットプレイスポータルユーザーが、パートナーポータルリンクを使って他の HPE 製品にアクセスしようとする、製品のログイン画面にリダイレクトされます。
原因	インストールの不具合です。
回避方法	<p>IDM で HP SSO を構成する方法については、『HPE CSA Configuration Guide』を参照してください。特に、HP SSO の構成には次の 4 ファイルを手動で構成する必要があります。詳細については、『HPE CSA Configuration Guide』を参照してください。</p> <pre>%CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/web.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/hpsssoConfig.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/spring/applicationContext-security.xml %CSA_HOME%/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/spring/applicationContext-v0.xml</pre>

ログインページにスタックトレースが表示される

ID	QCCR1D214210
問題	ログインページにスタックトレースが表示されることがあります。
原因	WildFly アプリケーションサーバーの不具合です。
回避方法	ブラウザを閉じて再オープンし、もう一度ログインします。

MPP にログオンすると、ユーザーがサービス管理コンソールおよび OO からログアウトされる

ID	QCCR1D218437
問題	CSA/Codar インストールで HPE Single Sign-On (SSO) を有効にしている場合、ユーザーが同じブラウザで SMC と MPP にログオンすると、他のすべてのユーザーが SMC からログアウトされます。

原因	製品の不具合です。
回避方法	もう一度ログインします。

新しい埋め込み OO をインストールすると、OO アップグレードに関するセキュリティの警告が表示される

ID	QCCR1D218563
問題	CSA の Linux インストールで、既存の OO インストールを使用するように選択した後で、代わりに埋め込み OO を使用するように選択した場合、次のセキュリティ警告が表示されます。 HPE Recommends to upgrade to HPE OO 10.50 to have more secure CSA-OO integration. このセキュリティ警告は冗長です。
原因	製品の不具合です。
回避方法	冗長なセキュリティ警告を無視します。

CSA 4.20 パッチ 2 から CSA 4.60 へのアップグレード中に、CSA 4.60 とスタンドアロン OO 10.50 の間の HPE Single Sign-On (SSO) が確立されない

ID	QCCR1D218817
問題	以前の CSA バージョンからのアップグレード中に HPE SSO が確立されません。これは、CSA と OO の間で SSO が有効にされ、デフォルトの initString が使用されている場合だけです。新しいセキュリティ機能拡張により、アップグレード中に、SSO 通信に使用されている initString がデフォルトの initString であることが検出されます。この場合、CSA 側で initString が再生成され、OO で initString の変更が試みられます。この試みの最初の部分で、CSA は OO に SSO がすでに有効になっているかどうかを問い合わせます。応答が肯定の場合、CSA は SSO を変更しません。変更すると、OO ですでに有効になっている SSO が動作しなくなる可能性があるからです。たとえば、外部 OO は他の製品との間で SSO を使用するように構成されている可能性があります。
原因	この動作は、CSA のアップグレード中に OO の構成済みの SSO の動作を妨げないことを目的とした機能です。
回避方法	アップグレード後に、OO で initString の構成をやり直します。CSA で使用されているのと同じ initString の値を使用します。

外部 MPP のアップグレード中に、Welcome.html ファイルが見つからないという Windows のエラーメッセージが表示される

ID	QCCR1D218882
問題	Windows 環境で外部 MPP をアップグレードする際に、インストールの最後に、Windows が Welcome.html ファイルを見つけられないという警告が表示されることがあります。
原因	製品の不具合です。
回避方法	警告メッセージを無視します。

HA のアップグレード後に、Elasticsearch 構成ファイルがリセットされ、elasticsearch.yml ファイルのカスタム変更が失われる

ID	QCCR1D218883
問題	HA のアップグレードインストール中に、Elasticsearch 構成のカスタム変更が破棄されることがあります。
原因	製品の不具合です。
回避方法	アップグレードされたインストールのカスタム変更は、/elasticsearch/config/ のバックアップフォルダーに保存されています。古いインストールファイルのカスタム変更をアップグレード後のファイルに移行します。

CSL デザイン vCenter Compute with Basic Options で、デプロイメントまたはサブスクリプションの変更時の MPP 通知が正しく動作しない

ID	QCCR1D219104
問題	CSA 4.50 から CSA 4.50 パッチ 1、CSA 4.60 にアップグレードする場合、外部 OO 10.20.0001 を使用していると、通知リストのヘッダーにはサブスクリプション名が含まれますが、[サブスクリプション] 列には含まれません。 これは、OO のベースコンテンツパックに、CSA 4.60 との組み合わせで正しく動作するために必要な最新の更新が含まれていないからです。 解決方法は、oo10-csa-integrations-cp-4.50.0000.jar を手動でロードすることです。このバージョンのコンテンツパックには、この問題を解決する不具合修正が含まれています。

原因	CSA のアップグレード (4.50 → 4.50 パッチ 1 → 4.60) 時に外部 OO 10.22 を使用している場合、最新の CSA 統合コンテンツパック oo10-csa-integrations-cp-4.50.0000.jar が OO Central にデプロイされません。この問題が起きる原因は、CSA のアップグレードの際に、通知の修正が含まれるバージョンの統合コンテンツパック (oo10-csa-integrations-cp-4.50.0000.jar) が OO Central にすでに存在するため、インストーラーが同じバージョンを再デプロイしないからです。
回避方法	最新の oo10-csa-integrations-cp-4.50.0000.jar ファイルを OO Central に手動で再デプロイします。 .jar ファイルは、CSA_HOME\CSAKit-4.5\OO Flow Content\10X ディレクトリにあります。 外部 OO Central のバージョンが 10.50 よりも前である場合は、次のファイルを使用します。 csa-integrations content pack oo10-csa-integrations-cp-4.50.0000.jar 外部 OO Central のバージョンが 10.50 である場合は、次のファイルを使用します。 csa-integrations content pack oo10.50-csa-integrations-cp-4.60.0000.jar

HA を CSA 4.5 パッチ 1 から CSA 4.6 にアップグレードした後で、csa-search-service\app.json ファイル内のカスタムキーストアおよびカスタム署名証明書の詳細が、デフォルト値にリセットされる

ID	QCCR1D219155
問題	アップグレードのインストール中に、検索サービス構成のカスタム変更が破棄される場合があります。
原因	製品の不具合です。
回避方法	アップグレードされたインストールのカスタム変更は、バックアップフォルダー (backup\csa-search-service\app.json) に保存されています。古いインストールファイルのカスタム変更をアップグレード後のファイルに移行します。

CSA 4.5 から CSA 4.6 へのアップグレード後に、PIV カードによる MPP へのログインが失敗する

ID	QCCR1D219172
問題	CSA 4.5 から CSA 4.6 へのアップグレード後に、Personal Identity Verification (PIV) カードによる MPP へのログインが失敗します。この問題は、Linux 環境でのみ発生します。
原因	アップグレード前の CSA 4.5 環境での HPE SSO のデフォルト値が正しくありません。アップグレードプロセスで idm.war ファイルが正しく更新されないため、アップグレード後に HP SSO が正しく機能しません。
回避方法	idm.war/WEB-INF/web.xml ファイルを編集します。次に示すセクションを見つけて、web.xml を hpssoConfig.xml に変更してから、CSA サービスを再起動します。 <pre><listener> <listener-class>com.hp.hpsso.HpSsoContextListener</listener-class> </listener> <context-param> <param-name>com.hp.sw.bto.ast.security.lwssso.conf.fileLocation</param-name> <param-value>/usr/local/hp/csa/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/WEB-INF/web.xml</param-value> </context-param></pre>

IDM ログインページに対する Foundation ベースのブートストラップカスタマイズが、CSA 4.6 で動作しない

ID	QCCR1D219223
問題	CSA 4.6 より前のリリースで作成されたポータルログイン画面のカスタムテーマが動作しなくなり、適切な場所が変わっています。
原因	CSA と IDM の技術的変更により、マーケットプレイスポータルおよび IDM のログインページ向けに作成されたカスタムテーマは互換性がなくなっており、再作成が必要です。 この変更は、CSA/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/ui に存在するテーマに影響します。

	CSA/porta1 ディレクトリにあるマーケットプレイスポータル専用のカスタムテーマに関しては、変更はありません。
回避方法	<p>カスタムテーマを作成し直します。ポータルログインページのテーマは、現在は CSA/jboss-as/standalone/deployments/idm-service.war/ui/bower_components /<テーマ名>ディレクトリにあります。CSAには、HP EnterpriseとHP Playfulの2つのサンプルディレクトリが付属しています。</p> <p>テーマは、固有のテーマフォルダーにある app.css ファイルに基づいています。従来のファイル名は、main.css でした。</p> <p>カスタムテーマを作成し直すには、そのテーマ名を使用した新規フォルダーを作成し、HP EnterpriseまたはHP Playful フォルダーからファイルをコピーして、以前のカスタムテーマと同じようにカスタマイズします。</p> <p>詳細については、『マーケットポータルのカスタマイズ』ホワイトペーパーを参照してください。</p>

CSA 4.20 パッチ 2 から CSA 4.60 にアップグレードした後で、CSA 4.x より前で作成されたサービスオファリングが、CSA 4.6 の MPP ダッシュボードの [カタログの参照] に表示されない

ID	QCCR1D219249
問題	CSA 4.20、CSA 4.20 パッチ 1、CSA 4.20 パッチ 2、CSA 4.50、または CSA 4.50 パッチ 1 から CSA 4.60 にアップグレードした後で、CSA 4.x より前で作成されたサービスオファリングが、CSA 4.60 の MPP ダッシュボードの [カタログの参照] に表示されません。これらのオファリングは、CSA 4.60 の SMC カタログオファリングと、CSA 4.20 の MPP ダッシュボードカタログに表示されます。
原因	製品の不具合です。
回避方法	回避方法はあります。

CSA 4.2 から CSA 4.6 へのアップグレードは正常に完了するが、インストールエラーログに FileNotFoundException エラーが表示される

ID	QCCR1D219349
問題	CSA 4.2 から CSA 4.6 へのアップグレードは正常に完了しますが、CSA の Install_Error ログファイルに次のエラーメッセージが記録されます: ERROR :HPE OO import cert: Cannot read specified file .java.io.FileNotFoundException.
原因	<p>検出された埋め込み/外部 OO の証明書は、OO から正常にエクスポートされ、新しい Oracle JRE にインポートされています。このため、CSA は正しく動作します。</p> <p>ログファイルに例外が表示されるのは、ユーザーが指定した証明書をインポートする別の試行がコードで行われるからです。これはコードの不具合です。ユーザーが証明書を指定していない場合、証明書のインポートの呼び出しが失敗し、ログにエラーが表示されます。呼び出しが失敗しても、その戻り値は読み出し元コードで使用されないため、インストールは問題なく続行されます。</p> <p>この問題は、検出された埋め込み OO と Oracle JRE または OpenJRE を使用してアップグレードする場合のみ発生します。</p>
回避方法	回避方法は不要です。ログファイルの例外エラーは無視してください。証明書のインポートは失敗しますが、証明書はすでにインポートされているため、影響はありません。

4.2 からアップグレードされ、埋め込み OO を使用している CSA 4.6 をアンインストールする際に、両方の製品がデフォルト以外のフォルダーにインストールされていると、OO がアンインストールされない

ID	QCCR1D219454
問題	埋め込み OO を使用する CSA を 4.2 から 4.6 にアップグレードした後で、CSA のアンインストール時に OO がアンインストールされません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	CSA のアンインストール後に埋め込み OO を手動でアンインストールします。

applicationContext-security.xml ファイルで、アップグレード後に idmConfig のホスト名は復元されるが、ポート番号が復元されない

ID	QCCR1D219456
問題	applicationContext-security.xml ファイルで、アップグレード後に idmConfig のホスト名は復元されませんが、ポート番号が復元されません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	アップグレード後に、applicationContext-security.xml ファイル内の "port" プロパティの値を、正しいポート番号に更新します。 applicationContext-security.xml ファイルは、\$CSA_HOME/jboss-as/standalone/deployments/csa.war/WEB-INF/ディレクトリにあります。

クラウドサービス管理コンソール

キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスが、承認が与えられるまで [オペレーション] 領域に反映されない

ID	QCCR1D192793
問題	キャンセル承認が必要なサブスクリプションのキャンセルステータスは、承認が与えられるまでクラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域に反映されません。その状態で [キャンセル] ボタンを繰り返しクリックすると、キャンセルしようとするたびに、承認要求が重複して不必要に作成されます。
原因	製品の制限です。
回避方法	クラウドサービス管理コンソールの [オペレーション] 領域でサブスクリプションをキャンセルしたら、状態がすぐに変化しなくても、[キャンセル] を再度クリックしないでください。キャンセルの承認が必要なサブスクリプションの場合、状態が変化するのは承認が行われてからだということに注意してください。

トポロジコンポーネントのブール値および整数のプロパティが、Chef 属性に正しくマッピングされない

ID	QCCR1D187711
問題	Chef からインポートされるトポロジコンポーネントには、そのデプロイオペレーションに属性パラメーターが含まれており、Chef レシピのプロビジョニングをカスタマイズできます。属性パラメーターで渡されたプロパティは、自動的に文字列に変換されます。たとえば、整数のコンポーネントプロパティ 3306 は "3306" に変換され、ブール値のコンポーネントプロパティ true は "true" に変換されます。Chef レシピが、文字列ではなく整数またはブール値の入力を想定して作成されていると、コンポーネントのプロビジョニングは失敗します。
原因	製品の制限です。
回避方法	文字列入力を受け取るように、Chef レシピを作成または変更します。

クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要

ID	QCCR1D185405
問題	クラウドサービス管理コンソールにログインするのに 2 回の試行が必要な場合があります。
原因	製品の不具合であり、クラウドサービス管理コンソールからログアウトせずにブラウザタブを閉じる場合に関連していると思われる。
回避方法	セッションを終了する際は、クラウドサービス管理コンソールからログアウトしてください。最初のログイン試行が失敗した場合は、もう一度ログインしてください。

インポートされたトポロジコンポーネントで、複数選択の入力プロパティの値リストが提示されない

ID	QCCR1D186068
問題	Operations Orchestration フローをクラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] 領域にインポートする際、そのフローに [種類] の値が [値のリスト] で [ソース] の値が [ユーザーへのプロンプト (選択リストから)] を持つ入力プロパティが含まれている場合、CSA に結果的にインポートされるコンポーネントには、この入力プロパティに対してタイプが [文字列] のプロパティ値が設定されます。1 つ以上の値を選択できる値リストの代わりに、[コンポーネント] と [デザイナー] の両方の領域では、単一のテキスト入力がこのプロパティのユーザーに提示されます。
原因	クラウドサービス管理コンソールの [デザイン] / [トポロジ] / [コンポーネント] と [デザイン] / [トポロジ] / [デザイナー] 領域には、このような複数選択のプロパティに対する正常なサポートがありません。

回避方法	このようなプロパティのテキスト入力では、フローが 入力プロパティ の解析に使用する方法で区切られた適切な区切り文字を使用して、プロパティ値をエンコードします。フローが Operations Orchestration の Base コンテンツパックで提供されるデフォルトの「Selection List Iterate」オペレーションを使用している場合、区切り文字 (セパレーター) は構成可能であり、デフォルトは ' ' になります。たとえば、'red'、'green'、'blue' という複数の値は、デフォルトのセパレーター値で「Selection List Iterate」オペレーションを使用する場合、'red green blue' (引用符なし) のように指定します。
------	--

プロバイダーのプロパティにリストプロパティがある場合に、コンポーネントの他の場所からそのプロパティにアクセスしようとすると、異常な動作が発生する

ID	QCCR1D216689
問題	プロバイダーにリストプロパティがある場合、その値をコンポーネントプロパティで使用できません。システムは、他のプロバイダータイプの異なるプロパティ名からのプロパティ値をリストします。
原因	この問題のために、プロバイダーからのリストプロパティを使用するトポロジコンポーネントベースのデザインで、予期しない動作が起こります。
回避方法	プロバイダーのプロパティでリストプロパティを使用しないでください。

FIPS モードを有効にした場合、トポロジコンポーネントにトポロジデザインをロードできない

ID	QCCR1D218762
問題	事前設定されたコンテンツカプセルに含まれる一部のコンポーネントに暗号化されたパスワードが含まれているために、FIPS モードを有効にすると [コンポーネント] ページがクラッシュする
原因	FIPS で使用される暗号化キーが、パスワードの暗号化に使用されたキーと異なります。このため、パスワードが正常に復号化されず、[コンポーネント] ページがクラッシュします。
回避方法	FIPS を有効にする場合、CSA/CODAR をインストールする際に、次の事前設定されたコンテンツカプセルをインストールしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> • HPE-CODAR-1.60.0000 • Helion-Development-Platform • Docker • CC-HPE-ICSP-CSA-Sequential-Integration

マーケットプレイスポータル

サブスクリバナーが **[任意の環境]** または **[この環境内の任意のプロバイダー]** を選択すると、トポロジデザインが正常にプロビジョニングされない

ID	QCCR1D208045
問題	マーケットプレイスポータルでサブスクリバナーが、特定のプロバイダータイプに設定されている [環境およびプロバイダー選択] オプションで [任意の環境] オプションを選択するか、特定の環境を選択してから [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、特定のタイプのトポロジデザインが正常にプロビジョニングされません。特に、トポロジデザインに [リスト] サブスクリバナーオプションプロパティが含まれ、これが [動的エントリ] に設定されている場合や、 [リスト] プロパティで選択した JSP がプロバイダーから情報を取得する場合に、デザインのプロビジョニングが失敗する可能性があります。たとえば、OpenStack ベースのデザインが、csa-openstack で始まる JSP を使用するよう設定されている場合、サブスクリバナーが [任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、正常にプロビジョニングされないことがあります。
原因	サブスクリバナーが選択する値の取得に JSP を使用する場合、一貫した方法で動作させるためには、選択した特定のプロバイダーの情報が必要になります。 [任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択すると、JSP がサブスクリバナーに選択リストを返すためにアクセスするプロバイダーと、プロビジョニング時に実際に選択されるプロバイダーが異なる可能性があります。

回避方法	<p>次のいずれかを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 上記の方法で設定されているトポロジデザインをベースにしたサービスオファリングのサブスクリプションを要求する際には、[任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] を選択しないようにサブスクリバラーに指示します。 2. 設定するプロバイダーインスタンスを 1 つのみに限定します (たとえば、上記の例では OpenStack)。これにより、[任意の環境] または [この環境内の任意のプロバイダー] をサブスクリバラーが選択しても、JSP がアクセスするプロバイダーと同じプロバイダーがプロビジョニング時に選択されるようになります。ただし、一部のプロバイダータイプにはさらに制約があります。たとえば、1 つの OpenStack プロバイダーを使用する場合は、サブスクリバラーがアクセスできるプロジェクトがすべて同じ設定になるように追加の作業を行う必要があります。 3. 同じタイプのプロバイダーインスタンスは完全に同一な設定にします (さらに、OpenStack に関する上記の制約も考慮する必要があります)。これにより、JSP が返す結果が、後でプロビジョニング時に選択されるプロバイダーに左右されなくなります。多くの場合、このオプションは現実的でない可能性があります。
-------------	---

サブスクリバラーオプションプロパティ間で循環的な依存関係があるデザインのサービスオファリングは、カタログに発行することは可能でも、マーケットプレイスポータルで提供に対してブルースクリーンが表示される

ID	QCCR1D208513
問題	<p>サブスクリバラーオプションプロパティ間で循環的な依存関係があるデザインのサービスオファリングは、カタログに発行することは可能ですが、マーケットプレイスポータルでオファリングに対してブルースクリーンが表示されます。たとえば、シーケンスデザインに [リスト] サブスクリバラーオプションプロパティが存在し、[動的クエリ] (名前は <code>propertyOne</code>) に設定され、[CLIENT:propertyTwo] を含む HTTP 要求本文を指定している場合、さらに別のサブスクリバラーオプションのプロパティ (名前は <code>propertyTwo</code>) で [CLIENT:propertyOne] を含む HTTP 要求本文を指定していると、循環的な依存関係が発生するので、このデザインをベースにしたサービスオファリングを発行するとマーケットプレイスポータルでブルースクリーンが表示されます。</p>
原因	製品の不具合です。
回避方法	デザインでサブスクリバラーオプションを設定する際には、循環的な依存関係が発生しないように注意してください。

Elasticsearch でグループ所有のサブスクリプションが返されない

ID	QCCR1D213955
問題	<p>マーケットプレイスポータルでグローバル検索を使用する際に、グループの所有権が設定されているサブスクリプションは、検索ユーザーがそのサブスクリプションの作成者である場合以外は表示されません。</p> <p>例:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーAとユーザーBはグループAに所属。 • ユーザーAがサブスクリプションを作成し、グループの所有権をグループAに設定。 <p>このサブスクリプションは、ユーザーAのグローバル検索結果だけに表示され、ユーザーBには表示されません。</p> <p>この問題は、ユーザーのグループが所有するサブスクリプションを表示するサブスクリプションリストページには影響しません。</p>
原因	グループの所有権の情報は Elasticsearch に記録されていないため、検索サービスから利用できず、検索クエリに含めることはできません。
回避方法	回避方法はありません。

SiteMinder で、MPP ユーザーが [オファリング管理] リンクをクリックすると、ブラウザーに「CSRF チェックに失敗しました - 要求は実行されません」というエラーが表示される

ID	QCCR1D214889
問題	<p>CSA インスタンスと SiteMinder を使用して、サービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルに同じブラウザーセッションでアクセスすると、テナント管理機能にアクセスしようとしたときに、CSRF トークンエラーが表示されます。</p>
原因	<p>CSRF トークンを処理するために SMC と MPP で使用されるメカニズムが競合します。この競合が発生するのは、認証に SiteMinder を使用していて、SMC と MPP が同じブラウザーセッションで実行された場合です。</p>
回避方法	<p>認証に SiteMinder を使用している場合は、SMC アプリケーションと MPP アプリケーションの両方を同じブラウザーで使用しないでください。(同じブラウザーの別のウィンドウではなく) 別のブラウザーを使用してアプリケーションを実行してください。</p>

マーケットプレイスポータルページを更新すると空白の画面が表示される

ID	QCCR1D218014
問題	ブラウザーの更新ボタン (F5 キー) を押したときに、MPP に空白の画面が表示されることがあります。これは Internet Explorer および Chrome ブラウザーで発生します。
原因	製品の不具合です。
回避方法	ブラウザーの更新ボタンまたは F5 ファンクションキーを使用してもう一度更新します。

SiteMinder で、オペレーションビューでサブスクリプションをキャンセルすると、「CSRF チェックに失敗しました」というエラーで失敗する

ID	QCCR1D218666
問題	CSA インスタンスと SiteMinder を使用して、サービス管理コンソールとマーケットプレイスポータルに同じブラウザーセッションでアクセスすると、[オペレーション] ページの [オフリング] タブにアクセスしようとしたときに、クロスサイトリクエストフォージェリ (CSRF) トークンのエラーが発生することがあります。SMC の他の領域にアクセスした場合も、同じ問題が発生することがあります。
原因	それぞれのアプリケーションで CSRF トークンが処理される方法の間に競合があります。認証に SiteMinder を使用して、同じブラウザーセッションでアプリケーションを実行した場合に、この問題が発生します。
回避方法	認証に SiteMinder を使用している場合は、SMC アプリケーションと MPP アプリケーションの両方を同じブラウザーで使用しないでください。(同じブラウザーの別のウィンドウではなく) 別のブラウザーを使用してアプリケーションを実行してください。

SIU プレビュー用の CSL コンテンツの [オフリングのインポート] UI で検証が成功したと表示されるが、インポートでエラーが表示される

ID	QCCR1D218725
問題	サービスオフリングのサブスクリイパーオプションが、基になるサービスデザインのオプションモデルと異なる場合、サービスオフリングのインポートは実行できません。この状況は、インポートするサービスオフリングに含まれるサービスデザインがターゲットシステムにすでに存在し、ターゲットシステムでオプションモデルが変更されている場合に通常発生します。この場合、サービスオフリングをインポートしようとしたときに、インポート操作が失敗することがプレビュー操作で示されません。実際のインポートは予期した通りに失敗し、適切なエラーメッセージが表示されます。
原因	プレビュー操作では、サービスデザインのサブスクリイパーオプションとサービスオフリングのサブスクリイパーオプションの比較が実装されていません。これはまれにしか起こりません。ほとんどの場合、ユーザーは運用システムでサービスデザインやサービスオフリングを変更すべきではありません。サービスデザインやサービスオフリングの変更は、ソースシステムでのみ行うべきです。
回避方法	プレビュー操作では、インポート操作の失敗の原因となる、サービスオフリングのサブスクリイパーオプションとサービスブループリントのサブスクリイパーオプションの間の違いを検出できません。一方、インポート操作ではこの検証が実行され、インポートが失敗します。CSA の Service Business Manager は、インポート操作によってこの種の問題を発見する必要があります。

サブスクリプションコストの桁数が多すぎる場合、HTML 通知に通貨が表示されない

ID	QCCR1D219037
問題	価格の桁数が多い場合、電子メール通知に通貨記号が表示されません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	HTML 通知テンプレートは、HTML コードとトークンが記述されたテキストファイルです。回避方法としては、HTML 通知テンプレートからトークンを削除し、実際に使用する通貨記号に置き換えます。デフォルトでは、テンプレートは csa.war\WEB-INF\classes\notifications にあります。 例 - 置換前: Cost:\${service.currencySymbol}\${service.initialPrice} and \${service.currencySymbol}\${service.recurringPrice} \${service.recurrentPeriod} 置換後: Cost: £\${service.initialPrice} and £ \${service.recurringPrice} \${service.recurrentPeriod} HTML 通知の詳細、その場所、構成方法については、『HPE CSA Configuration Guide』を参照してください。

Windows で MSSQL データベースを使用している場合に、CSA 4.2 パッチ 2 から CSA 4.6 にアップグレードした後で、Elasticsearch が有効になっているが、既存の CSA 4.2 のデータが返されない

ID	QCCR1D219228
問題	Windows で MSSQL データベースを使用している場合に、CSA 4.2 パッチ 2 から CSA 4.6 にアップグレードすると、CSA 4.2 で作成されたオフリングやサブスクリプションがグローバル検索で利用できません。
原因	Elasticsearch で CSA 4.2 レコードのインデックスが作成されていません。 根本的な原因は、CSA_CATALOG_ITEM テーブルの posted_in_es 列に空文字列があることです。Elasticsearch は、空文字列の値を持つレコードのインデックスを作成しません。
回避方法	アップグレードの直後に、CSA_CATALOG_ITEM テーブルで、POSTED_IN_ES 列の値を手動で 'N' に更新します。更新前は POSTED_IN_ES は空文字列になっています。 空文字列のレコードを更新する SQL の例を次に示します。 SQL: update csa_catalog_item set posted_in_es = 'N' where posted_in_es = '';

グローバルカタログの外部価格設定システム (EPS) サブスクリプションに対して、[要求の詳細] > [サービスの再オーダー] が動作しない

ID	QCCR1D219347
問題	シードされたコンシューマーユーザーを使用している場合、グローバルカタログの EPS サブスクリプションに対して [要求の詳細] > [サービスの再オーダー] を選択しても動作しません。
原因	製品の不具合です。
回避方法	シードされたコンシューマーユーザーを使用しないでください。オフリングがグローバルカタログにない場合は、EPS に対する再オーダーは動作します。

『インストールガイド』と『Upgrade Guide』

生成された『インストールガイド』と『Upgrade Guide』の PDF にフォーマットの問題がある

ID	QCCR1D219366
問題	『インストールガイド』と『Upgrade Guide』から生成された PDF に、次のようなフォーマットの問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> 改ページで表の行が分割される場合、行の最初の列が、次の行の最初の列と結合されます。 例のテキストが右マージンで切り捨てられます。 テキストが行末で文字化けします。 ドキュメント内にある他のセクションへのリンクが破損しています。 コンテンツに埋め込まれたアイコンが表示されないことがあります。
原因	ドキュメントの制限。
回避方法	インストールおよびアップグレードガイドの内容は、印刷ではなく Web ブラウザーで表示してください。 注: これらのドキュメントはブラウザーを使用してオンラインで表示するようにデザインされており、印刷用ではありません。最適な表示を得るには、これらのドキュメントを Web ブラウザーで表示してください。

HPE CSA との統合

HPE Operations Orchestration

vCenter Sync Resource Capacity 4.5 フローは、サービスアクセスポイントに明示的なポートがないと動作しない

ID	QCCR1D219159
問題	CSA 統合コンテンツパックには、CSA リソースプールに対するリソース同期アクションとして選択可能な vCenter Sync Resource Capacity 4.5 フローが含まれています。このフローは、サービスアクセスポイントに有効なポートが含まれていないと失敗します。
原因	CSA-OO 統合フロー。

回避方法	<p>リソースプロバイダーを構成する際に、サービスアクセスポイントのポート番号を指定します。</p> <p>例:</p> <p>https://<ホスト名>:443</p> <p>ここで、<ホスト名>は vCenter ホスト名で、443 はサービスアクセスポイントに含めるデフォルトの vCenter ポート番号です。</p>
-------------	--

廃止に関する注記

代理トポロジサービスコンポーネント

代理トポロジサービスコンポーネントは、HPE CSA バージョン 4.60 で廃止されました。代理トポロジサービスコンポーネントを使用できるのは、HPE CSA バージョン 4.50 以前からアップグレードしていて、かつバージョン 4.50 以前で代理トポロジサービスコンポーネントが構成されていた場合に限りです。HPE CSA バージョン 4.60 で代理トポロジサービスコンポーネントを作成することはできません。HPE CSA 4.60 では、代理トポロジサービスコンポーネントを含むシーケンスデザインを作成することはできず、そのようなデザインをこのバージョンにコピー、インポート、複製することもできません。

サポート終了に関する注記

サービスデザインとコンテンツパック

次のサービスデザインおよび Operations Orchestration コンテンツパックのサポートは終了しました。このコンテンツをサポートする最後のリリースは CSA 4.50 です。このコンテンツは、今後の CSA リリースでは利用できません。代わりに、製品コンテンツインストーラーに含まれるコンテンツを使用するか、HPE Live Network (hpln.hpe.com/node/143/cc) で、使用中の環境と互換性のある最新のコンテンツカプセルを入手してください。

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_ADM_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_ADM_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_CUSTOM_PROVIDER_SELECTION_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_DMA_JBOSS_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_DMA_JBOSS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_MT_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_SOAPV4_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_STANDALONE_DMA_JBOSS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/matrix operating environment/CSA_BP_MOE_COMPUTE_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/network automation/CSA_BP_NA_VIRTUAL_NETWORK_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/openstack/CSA_BP_OPENSTACK_HPCS_COMPUTE_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_ADM_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_ADM_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_CASCADED_OPTIONS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_CUSTOM_POOL_SELECTION_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_DEPENDENT_OPTIONS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_DMA_JBOSS_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_DMA_JBOSS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_DYNAMIC_OPTIONS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_FAILURE_HANDLING_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_MODIFY_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_SA_SOFTWARE_POLICIES_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_SITESCOPE_MODIFY_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_SITESCOPE_UCMDB_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware
vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_STANDALONE_DMA_JBOSS_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/sequenced/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_v3.20.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/amazon ec2/CSA_BP_AMAZON_EC2_INFRA_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_COMPUTE_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/Content Archives/topology/vmware vcenter/CSA_BP_VCENTER_HPSA_LAMP_STACK_v4.10.00.zip

CSAKit-4.5/OO Flow Content/10X/oo10-csa-cp-4.50.0000.jar

CSAKit-4.5/OO Flow Content/9X/CSA-4_10-ContentInstaller.jar

ドキュメントのフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想は、電子メールで clouddocs@hpe.com までお送りください。

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Hewlett Packard Enterprise はいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterprise からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2016 Hewlett Packard Enterprise Development, LP

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®および Windows®は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle および Java は、Oracle Corporation およびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

RED HAT READY™ロゴおよび RED HAT CERTIFIED PARTNER™ロゴは、Red Hat, Inc の商標です。

OpenStack Word Mark および Square O Design は、単独でも両方でも、OpenStack Foundation の米国およびその他の国における登録商標であり、OpenStack Foundation の許可を得て使用されています。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。 <https://softwaresupport.hp.com>

[ダッシュボード] メニューで [マニュアル] を選択すると、利用可能なすべてのドキュメントが表示されます。検索およびフィルター機能を使用すると、ドキュメントやホワイトペーパーなどの情報ソースを検索できます。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、Hewlett Packard Enterprise の営業担当にお問い合わせください。

サポート

Hewlett Packard Enterprise ソフトウェアサポートオンライン Web サイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com>